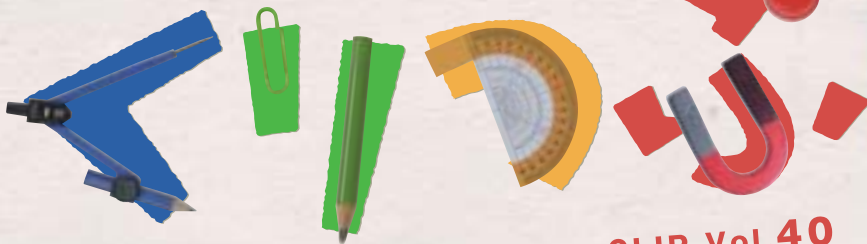


学校 家庭 地域

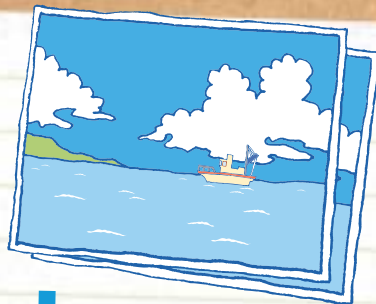
学校を変える。教育が変わる。



CREATIVE LEARNING INFORMATION PAPER CLIP Vol.40
平成21年7月10日発行 広島県教育委員会

内容

- いよいよ夏休み!
食べる!遊ぶ!読む!で子どもの成長を応援しよう
- 家庭でも「食・遊・読」にチャレンジ!
子どもたちの充実した夏休みを応援しよう!
- 頑張る学校訪問記 第4回
- やりがい～人づくりの現場から～ 第9回
- おでかけガイド



いよいよ夏休み! 食べる!遊ぶ!読む!で 子どもの成長を応援しよう

家庭や地域が生活の場となる夏休み。子どもたちが大きく成長できる絶好のチャンスです。家庭でも「食・遊・読」に取り組み、子どもたちの基本的な生活習慣づくりをサポートしましょう。



家ではどうやって
過ごしたらいいの?

朝ごはんが
おいしいのは
元気のしるし!

きちんと
食べて
体と頭を元気に!

一日の生活は食べることから!
生活リズムを整えよう
朝食は、体と頭のウォーミングアップに欠かせません。朝食をきちんと取り、三食規則正しく食べましょう。



しっかり
遊んで
体力アップ!

協調性やルールを学ぶ
外遊びを勧めよう
子どもたちの心と体の健やかな成長に大切な外遊び。家族でスポーツをしたり、外で遊んだりする機会をつくりましょう。



家族みんなで
本を読むと
楽しいね

じっくり
読めば
心が豊かに!

感性やことばの力を育てる読書に親しもう
読書は感じる力、考える力、さらに学習や生活の基盤となる「ことばの力」を育てます。家族と一緒に本を読んだり、本の感想を話したりするなど、読書に親しみましょう。



家の中じゃなく
外で遊ぼう

子どもの成長を
応援するために、
取り組みましょう

check!! 夏休み チェックシート ～あなたの家庭はどうですか?～

- 早寝・早起き、規則正しい生活ができていますか?
- 朝食を毎日食べていますか?
- 子どもと一緒に、外遊びやスポーツを楽しんでいますか?
- 外で遊ぶ時のルールをきちんと教えていますか?
- 親子で読書をする時間をつくっていますか?
- 毎日、子どもと楽しく話をしていますか?

そのほか、家庭で実践したい「食・遊・読」の取り組みは中面へ GO!

家庭でも「食・遊・読」にチャレンジ! 子どもたちの充実した夏休みを応援しよう!

具体的には何をすればいいの?



We are residents in the clip town.



私たちくりっポタウンの住人です!
子どもたちの成長のために一緒に考えていきましょう。

生活習慣は、子どもの学力・体力や、人とかかわる力に大きな影響を与えることが分かっています。
夏休みこそ、食べること・遊ぶこと・読むことを通して、望ましい基本的生活習慣づくりに取り組みましょう!

食

毎日、三食きちんとバランスよく! 家族で楽しく食べることも大切です

食生活やライフスタイルの変化により、朝食の欠食や野菜の摂取不足などが見られ、肥満など、子どもたちの健康にも影響が現れています。子どもと体の健やかな成長のために、「食」への理解を深め、正しい生活習慣を身に付けましょう。

だから家庭で応援!

- 毎日朝食を欠かさず、三食取りましょう
三食きちんと取り、主食、主菜、副菜をそろえたバランスの良い食事を心掛けましょう。
- 家族みんなで楽しく食べましょう
話が弾む楽しい食卓は、食も進み、子どもの偏食を防止することにもつながります。
- 食事を作る楽しさを教えましょう
親子で一緒に作ることで、食の楽しさを知り、自分で食事を楽しむ工夫ができるようになります。

子どもの食生活にかかわる状況

栄養の偏りや食生活の乱れ

- 朝食を取らない
- 偏った栄養(脂質の過剰摂取、野菜不足)など

心身の健康問題につながります

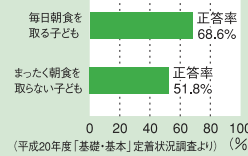
- 肥満傾向にある児童生徒の増加
- 生活習慣病の低年齢化
- 過度のやせ志向 など

生活リズムを整え、
子どもの集中力・持続力を
はぐくみます。

学習や運動の効果がアップ!

朝食を毎日取る子どもは、基礎学力の定着度合いや体力・運動能力が高い傾向が見られます。

小5国語の正答率



遊

外遊びで心と体をたくましく! 安全のルールもしっかり教えましょう

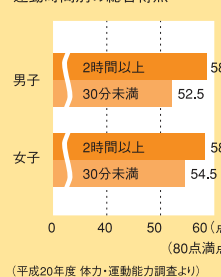
家の中でテレビゲームばかりしていませんか? 運動を伴う遊びは、子どもと心の成長に欠かせません。家庭でも、子どもたちと一緒に外遊びを積極的に楽しめましょう。

だから家庭で応援!

- 子どもと一緒に体を動かしましょう
外遊びで体を動かし、運動することによって、子どもと心と体は豊かに発達します。積極的に子どもたちと外遊びましょう。
- 友達との外遊びを勧めましょう
大勢の仲間と一緒に遊ぶことで思いやりや協調性を学びます。年齢の違う仲間と遊ぶことで、他人との接し方を覚えていきます。
- 昔ながらの遊びを子どもに伝えましょう
その場の状況に合わせて工夫しながら遊んだ昔の遊びは、子どもの心や体をはぐくみます。

毎日の運動で体力アップ!

小5体力テストによる1日の運動時間別の総合得点



子どもの安全を守るためには

- 熱中症に注意! 屋外での帽子着用、こまめな水分補給をするようにしましょう。
- 自転車を利用するときには、安全確認を徹底し、交通ルールを守りましょう。
- 海やプール、川で遊ぶ時には、行き先、帰宅の予定時間、同行者などを知らせるよう習慣づけましょう。

地域も応援!! 放課後子ども教室

地域では、住民の参加・協力により、子どもたちが安全・安心に活動できる場として「放課後子ども教室」を実施中。勉強やスポーツ、文化活動、交流活動などの取り組みが行われています。

読

一緒に読書をしたり、本を選んだり 進んで読書ができる環境づくりを!

子どもに「本を読みなさい」と言って親はテレビを見てばかり、ということはありませんか? 大人を見習って子どもが読書に親しめる環境をつくりましょう。

だから家庭で応援!

- 読書をする習慣を付けましょう
親子で一緒に本を読むなど、読書をする環境をつくりましょう。
- 子どもと一緒に本を選びましょう
関心のある本を選ぶことで、主体性や自立性がはぐくまれます。図書館などを活用して、たくさん本を読むように動かしましょう。
- 読んだ本について話しましょう
もの見方や考え方が広がり、自分の意見が言えるようになります。家族で話し、子どもが感じたことを聞くように心掛けましょう。

県立図書館の司書からのアドバイス

図書館や書店に連れて行って、たくさん本の中から、子ども自身に読む本を選びましょう。図書館の司書に相談したり、本の内容を紹介したブックリストやホームページでお勧め本を探することもできます。

県立図書館HP
http://www.hplibra.pref.hiroshima.jp/

学校や地域も応援!! 子どもの読書活動推進計画

読書は、知をはぐくみ、心を耕し、人生をさらに豊かにします。子どもたちが本を「たくさん読む」、「よりよく読む」ことを目指し、またそれらを支える「環境の整備」を進めるため、「すべての児童が1か月に1冊は本を読む」や「子どもの読書活動ボランティア10,000人を目指す」など14の目標を示しました。学校、家庭、地域が一体となって、目標の達成に取り組んでいきましょう。

夏休みは家族でチャレンジ!!

食 つくってみよう! 自分の朝ごはん

夏休みの期間に、5日以上自分の朝ごはん作りにチャレンジする小学生と家族を募集しています。自分の朝食作りを体験することで、子どもが朝食の大切さや基本的な生活能力を身に付けるきっかけにつながります。

お問い合わせ/ (財)ひろしま子ども夢財団
☎082(212)1007
HP http://www.yumezaidan.or.jp/

遊 体験活動ができる施設を活用しよう

県内には、自然体験活動、レクリエーション活動、創作活動、スポーツ活動など、いろいろな体験活動ができる施設や教室などがたくさんあります。親子や友達同士でいろいろな活動にチャレンジしてください。それぞれの施設・団体のホームページや、市町広報紙、新聞、ミニコミ紙などで紹介されています。県立施設については、最終ページの「おでかけガイド」にも紹介していますので、ご覧ください。

読 「ことば」の力を身に付ける取り組みを

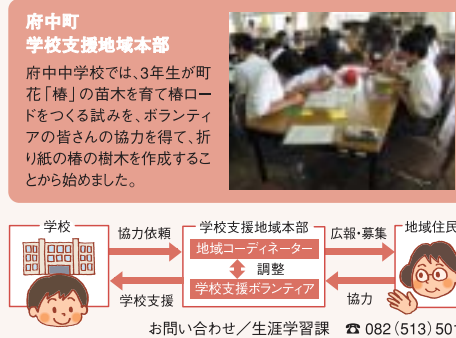
「ことばの輝き」優秀作品コンクール
日常生活を豊かな感性と輝く「ことば」でつづる活動を応援するため、子どもたちが、日ごろ身に付けた書く力を発揮するコンクールを行います。
みんなでつくる「ひろしま自慢」
県内各地のふるさと自慢を、子どもたちが自分の「ことば」で簡潔にまとめ、アピールする場を設けます。
お問い合わせ/指導第一課 ☎082(513)4976

新着情報 現在、このような取り組みが進行中です!

学校支援地域本部事業

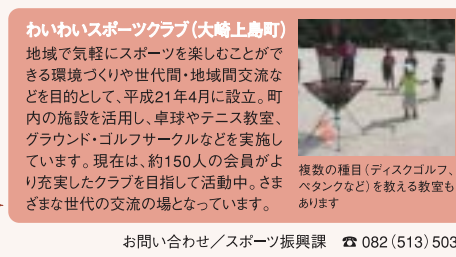
学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えるため、学校が必要とする支援を地域のボランティアが行う体制を構築する「学校支援地域本部事業」を実施しています。スタートした平成20年度は、県内8市町に8支援本部が設置され、学校とボランティアとの調整を行う地域コーディネーターが配置されました。これらの支援本部においては、教員だけでは十分な対応が難しいクラブの専門的な指導や、「総合的な学習の時間」の指導支援、草取り等による環境整備などの学校支援活動が行われています。

みんなで支える学校 みんなで育てる子ども



総合型地域スポーツクラブ

誰でも気軽にスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブが、県内各地で活動の輪を広げています。年齢や関心、技能レベルなど、地域住民のニーズに応じてスポーツを楽しむことができる場となっています。



教育相談ガイドブック

障害のある子どもや保護者の皆さんが安心して生活するためには、県内のどこに住んでいても、早期からの相談と支援を適切に受けられることが大切です。「障害のある子どもと保護者のための教育相談ガイドブック」では、県の特別支援教育の状況や教育相談に関するQ&A、教育相談機関などを幅広く紹介しています。
※ホームページ「ホットライン教育ひろしま」からダウンロードしてご覧ください。
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/

お問い合わせ/特別支援教育室 ☎082(513)4982

第4回 頑張る学校訪問記

広島県立広島中央特別支援学校 視覚障害者の自立を目指して

90年以上前の大正3年に設立され、平成19年4月に「広島県立盲学校」から校名を変更した「広島県立広島中央特別支援学校」。幼稚園から小学部、中学部、高等部、専攻科(3年間)まであり、視覚障害のある幼児・児童・生徒が、今年度は79人在籍しています。小学部から高等部までは、教科学習に加え「自立活動」の時間を設け、自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服するため点字や弱視レンズ、歩行指導などの学習を行っています。白杖を使って校外に出て目的地まで歩いたり、弱視レンズを使ってバスの行き先を確認したりするなど、一人一人の障害や年齢、生活に応じた実践的な歩行指導をしています。

- 専攻科について
専攻科は、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の養成のための課程で理学療法と保健医療科があります。病気や事故などで視力が低下した中途視覚障害者も多く在籍し、幅広い年齢の人が職業的自立を目指して学んでいます。昨年度は国家試験に全員が合格しました。これまでの卒業生の多くは、施設所・病院・老人保健施設などに就職したり開業したりしています。
- センターの機能について
「視覚障害教育相談支援センター」があり、学内外を問わず県下の視覚障害児・者や家族、教育関係者などへ支援を行っています。専門の教員が対応し、依頼があれば出張相談にも応じています。



… やりがい …



～人づくりの現場から～

東広島市立松賀中学校 指導教諭
奥村 裕子 さん

生徒実態を的確に把握し、個に応じた効果的な指導を工夫・実践。生徒一人一人のノート指導に努め、予習や復習などの自学を勧めている。

夢に向かって頑張っている 元氣と笑顔が宝物

Q 普段の授業で心掛けていること、工夫されていることは？

A まず、生徒の力を分析した上で、それぞれの単元でどのような力を付ける必要があるのかを明確にすること。そして生徒一人一人がしっかり考え、書くまたは話す（表現する）ことのできる授業を行うことです。生徒が2人1組で行うペア学習を取り入れ、お互いの考えを話し合う場を多く設けるなど、学びがより深まり、広がるように心掛けています。

Q 生徒との触れ合いを通して印象に残っていることは？

A 100のことわざを覚えるテストを行った時のこと。合格点に達するまで再テストを行ったのですが、回を重ねると、途中で少し意欲を失う生徒もいました。それでも、生徒同士、担任や他教科の先生、部活の顧問の先生からも励まされ、ほぼ全員がやり抜くことができました。こちらがきらめず信じてやれば必ず応えてくれる、そう確信しました。

Q 指導教諭としての役割や目標などを教えてください。

A すべての教科において言語活動の充実が求められる中で、その基盤となる国語科の重要性を再認識しています。指導教諭として、国語科の教員として、言語活動を充実させ、しっかりと考え、表現させる授業を発信していきたいと思っています。

Q 今後の課題、取り組んでいきたいことは、どのようなことですか。

A 授業改善です。生徒たちには、厳しい世の中でも堂々と物が言える大人になってほしい。そのため思考力や表現力を高める授業が必要とされています。また、読書指導では、豊かな感性・創造力の育成のため、質の高い読書活動ができるよう、環境づくりを一層強化したいと思います。

Q どんなときにやりがいを感じますか？

A 夢発表のスピーチや、文化祭での俳句甲子園など、教科の授業以外でも表現活動への取り組みを行っています。生徒たちの真剣な表情や、「できた！分かった！」「やり切った！」という自信に満ちた笑顔は、何にも変えられないもの。私に大きな力を与えてくれます。



廊下には本の紹介コーナーを設置

臨時的任用教員・非常勤講師

広島県教育委員会では、県内の公立学校（小・中・高等学校及び特別支援学校）の臨時的任用教員及び非常勤講師の希望者を募集しています。

- 区分/①臨時的任用教員 ②非常勤講師
 - 内容/①欠員補充や産前産後休暇、育児休業、退職等の代替のために、臨時的に勤務する常勤の教諭及び養護教諭 ②あらかじめ定められた教科の授業を行う等の非常勤の講師
- お問い合わせ/教職員課 ☎082(513)4922,4924

高校生スペシャリストの祭典

地域や産業界の協力により、専門高校などの生徒が産業教育に関する学習の成果を発表します。「みよし商工フェスティバル」と同時開催。

- 日時/10月24日(土) 11:00～16:00, 25日(日) 10:00～16:00
 - 会場/広島県立みよし公園(三次市四拾貫町神田谷)
- お問い合わせ/広島県立庄原実業高等学校 ☎0824(72)2151

JST理数大好きシンポジウムin広島

県内の小・中・高等学校における理数学習に関する取り組みを活性化するためのシンポジウム。ノーベル賞受賞者による特別講演や、パネルディスカッション「地域における理数教育の活性化」などを実施する予定です。

- 日時/11月21日(土) 9:30～16:30
 - 会場/県立広島大学 広島キャンパス
- お問い合わせ/指導第二課 ☎082(513)4994

広島県立歴史博物館 ☎084(931)2513 福山市西町2-4-1

開館20周年記念夏休みの展示 「子ども博物館教室大集合」

▲入館料/常設展の入館料で観覧可。
一般:290円、大学生:210円、小・中・高校生:無料

- 期間/7月24日(金)～9月6日(日)
- 内容/子どもを対象に実施してきた、体験学習の内容を展示します。期間中は、館内でさまざまな体験ができます。



い草織り体験

開館20周年記念企画展 「平家一門の栄華と瀬戸内海一海原を駆けぬけた清盛の夢」

▲入館料/一般:700円、高・大学生:520円、小・中学生:350円

- 期間/10月16日(金)～11月23日(月・祝)
- 内容/平氏政権と瀬戸内海に焦点をあて、この政権が構想した新しい社会の姿を展覧します。

頼山陽史跡資料館 ☎082(542)7022 広島市中区袋町5-15

第95回展示 「ひろしまの近世遺跡と江戸の好古学」

▲入館料/常設展の入館料で観覧可。
一般:300円、小・中・高校生:150円

- 期間/7月15日(水)～10月4日(日)
- 内容/広島城をはじめとする、近年の近世遺跡の調査結果を紹介します。



南山古墳/図

おでかけガイド

※詳細については、各施設にご確認ください。

広島県立図書館 ☎082(241)2299 広島市中区千田町3-7-47

夏休みおはなしかいウィーク

- ▲参加費/無料
- 日時/8月25日(火)～30日(日) 11:00～
- 内容/図書館職員やボランティアによる、児童資料などの読み聞かせを行います。

広島県立歴史民俗資料館 ☎0824(66)2881 三次市小田幸町122

ふどきの丘体験教室

- ▲費用/材料代(300円)が必要な教室があります。
- 期間/7月25日(土)～11月7日(土)
- 内容/「ハニワをつくろう」「藍染に挑戦しよう」「ふどきの丘森林教室」「たたら製鉄に挑戦しよう」「土器・ハニワを焼こう」の全5回。

夏の展示会「三次の妖怪ものがたり」

- ▲入館料/常設展の入館料で観覧可。
一般:200円、大学生:150円、小・中・高校生:無料
- 期間/7月3日(金)～8月30日(日)
- 内容/江戸時代、三次を舞台に描かれた「稲生物怪録」をもとに、当時の人々の生活や、物の見方、考え方を紹介します。



稲生物怪録

広島県立福山少年自然の家 主催事業 FUNチャレンジクラブ ～みんなで進め冒険の旅～

「FUNチャレンジクラブ」は、普段の生活や一人の力ではなかなかできないチャレンジを、グループのメンバーと一緒に体験していくシリーズ型プログラムです。このプログラムでは、「冒険教育」という手法を取り入れ、3回シリーズを組み、子どもたちが他者と一緒にチャレンジすることを通じ、人とのかわりについて学びます。

参加者募集

一緒に頑張ろうね!

- 第1回 (FUNチャレンジクラブⅠ) ●開催日/9月19日(土)～21日(月・祝) 20kmロングウォークに向けて、グループでトレーニングを行います。
- 第2回 (FUNチャレンジクラブⅡ) ●開催日/11月21日(土)～22日(日) グループ全員で、自分たちの家造りにチャレンジします。
- 第3回 (FUNチャレンジクラブⅢ) ●開催日/平成22年1月23日(土)～24日(日) 厳寒の中、時間内に20km歩き抜くことを目指します。

※3回すべて参加可能な方が対象になります。
対象/小学3年生～6年生(定員 男女各13人)
申し込み/8月5日(水)～19日(水) 往復はがきにて
お問い合わせ/広島県立福山少年自然の家 ☎084(935)7166 福山市金江町薬江619-2
<http://www.manabi.pref.hiroshima.lg.jp/gakusyu/fukuyama/index.html>



福山少年自然の家では、さまざまな自然体験活動や創作活動ができます。詳しくはお問い合わせください。

いじめダイヤル24

ひとりでは悩まないで あなたはひとりじゃない ネットいじめが増えています。まずは相談を
広島県立教育センター ☎082(420)1313
●直接相談:(平日)9時～19時
●留守番電話対応:(平日)19時～9時(休日)24時間
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/ijime/madoguchi/index.html>

県の教育行政に対するご意見などは、メールや郵送で受け付けています。

- 広島県教育委員会ホームページ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/>
- Eメール kyoukouhou@pref.hiroshima.lg.jp
- 郵送/〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会総務課教育政策室宛

〈編集・発行〉

広島県教育委員会総務課教育政策室
〒730-8514 広島市中区基町9-42
☎082(513)4934
※点字版の「くりっぷ」を発行していますので、希望される方はご連絡ください。